

事業所名

フリールーム新今宮

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和6年

3月

15日

法人（事業所）理念		昔からの日本教育の風習や考えに捉われず、昨今の多様性と変化のある世の中で、個人が活動的に得意を伸ばし、様々なご家庭のニーズに合わせれる、形式に捉われないフリースタイルなデイサービスを提供する事を、理念と掲げる。									
支援方針		お友達や先生たちと、集団生活の中でコミュニケーションが上手くとれるようになり、協調性や社会ルール・マナーを学び育てます。体験の中から、個性や長所にフォーカスし、成功体験を積み重ねて、自己効力感を伸ばします。									
営業時間		10	時	0	分から	19	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	身辺の自立のサポート(着替え、食事、トイレ、歯磨きなど) 生活習慣の形成、改善のサポート(昼夜逆転の改善、運動の促進など) 基礎体力の向上(公園遊び、マット運動、散歩など) 近年、不登校児童増加の傾向から午前中から活動できる居場所づくりという観点も手厚く支援を行っています									
	運動・感覚	粗大運動(ボール遊び、縄跳び、かけっこ、自転車練習など) 微細運動(折り紙、鉛筆練習、洗濯ばさみを使った指先訓練など) 得意な運動は伸ばし、苦手な運動は克服できるように各々にあった支援を行っています									
	認知・行動	学習支援(2歳から6歳→プリント学習【線引きや間違い探しなど】就学児→宿題サポート) 視覚支援(ホワイトボードを使ったプログラムの可視化など) 公道や他施設(公園など)での危険行動の注視。危険行動があった際に何が危険か話し合う機会を作り、危機管理能力の獲得の支援									
	言語 コミュニケーション	日常会話をたくさんできる環境づくり(支援員も輪の中に入り、たくさんコミュニケーションが取れるように支援を行う) おもちゃ(ボードゲーム、トランプなど)を使った集団遊び(支援員が見守り、必要とあれば児童の間に入り、コミュニケーションを取れる機会を作っていく) 言葉遊び(しりとりやものあてゲーム)を通して、言葉に触れる機会をたくさん作っていく									
	人間関係 社会性	地域交流(郊外プログラム【公共施設】おやつの買い物体験) 協調性の獲得(集団遊戯や集団運動への参加) 社会性の獲得(自身でできれば自分で休みの連絡をできるようにサポート、挨拶ができるようにサポートなど)									
家族支援		送迎時や電話、家族支援を通してコミュニケーションを取る機会を作っていく 相談事があれば時間をできる限り作ってお話をする時間を設けていく 助言や聞き取りを通して保護者様の不安を取り除いていく				移行支援		ライフステージの切り替えを見据えて、地域や学校、就労先との連携・交流・情報交換などを行っていきます			
地域支援・地域連携		相談支援事業所や他のデイサービス、ショートステイなどと交流や情報交換を行っていきます。 会議があれば参加し発信も行っていきます				職員の質の向上		定期的なミーティング 勉強会、研修への参加			
主な行事等		毎週土曜日に室内イベント(アイスづくり、消しゴムづくりなど)や郊外プログラム(カラオケや大きい公園)を行っています 月ごとに季節レクリエーション(お花見、七夕、ハロウィンパーティー、クリスマス会、バレンタインチョコ作り等)									